

みせ しょくどう

たまごかけごはんの店「食堂かめっち。」

～メインディッシュは「たまごかけごはん」～



たまごかけごはん



「食堂かめっち。」外観

経緯

- 平成17年3月、平成の大合併により誕生した美咲町。新しい町名となり知名度が低かった。
- 町出身の偉人「岸田吟香」がたまごかけごはんを全国に広めたことから、町に人を呼ぶ目玉として「卵」に着目。
- 平成20年1月、地域活性化や知名度向上を目的に「食堂かめっち。」をオープン。

取組内容

- 地元養鶏場のコクとうまみのある新鮮な卵、「つなぐ棚田遺産」に選定された大井和西の棚田で地元農家が手間暇と愛情をかけた棚田米など、美咲町産にとことんこだわった食材を使用。
- コロナ禍での休業を契機に食堂のリニューアル工事や新メニューを開発。
- イベント出店、ホームページ作成、SNS等を活用し、全国へ情報を発信。

活動の効果

- 多くのマスコミに取り上げられ、「たまごかけごはんの聖地」「たまごかけごはん発祥の地」と呼ばれるようになり、令和5年、来店者100万人を達成した。
- 地元食材を使用することで、地産地消や農業振興に貢献している。
- 取組が小中学校の授業に取り上げられ、町内の子供たちは「たまごかけごはん」を通じて美咲町の文化、歴史を知るきっかけとなっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

美咲町がますます「たまごかけごはんの聖地」として有名になるようPR活動を行うとともに、町の地域活性化や知名度向上に貢献していきたい。

住 所 ・ 電 話 番 号 ・ S N S 等

久米郡美咲町原田2155 Tel:0868-66-1123

記念賞
応募

とくていひえいりかつどうほうじんあいだうえやまたなだだん

特定非営利活動法人英田上山棚田団

～1000年続く棚田の暮らし再生プロジェクト～



稲株主の皆様と稲刈り



地区の役割も多々担う棚田団移住者メンバー

取組内容

- 持続的な里山の環境保全を目的として、地域の核となっている棚田の調査研究を行いながら地域内外の人々と連携し棚田の保全活動を実践。
- 2021年度から、地域独自の棚田オーナー制度である「棚田の稲株主制度」(棚田での農作業や里山での暮らし体験)を開始。

前回選定後の情報発信の取組

- 新聞・雑誌等・テレビ・ラジオ等への出演・掲載回数 約30回(2016-2023年)
- SNS登録者数 Facebook等 約3,500人
- 講演回数 約20回(2016-2023年)
- 視察受入件数 年間10-20件(2016-2023年、オンライン対応含む)
- 一般財団法人トヨタモビリティ基金との助成事業採択(2016-2019年)

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 地域住民と若者と移住者(棚田団メンバー含む)が隔たりなく新たな課題等に立ち向かう意識や体制が構築され、選定時30人程度だった移住者は40人となり、地区人口150名の3割程度を占めるまでとなった。
- 「棚田の稲株主制度」を導入した結果、稲株主が100人程度となり新たな関係人口を創出したほか、集落内の提携宿での割引特典を加えたことで地区の民宿数が5軒に増え、関西の旅行会社との連携も始まった。

応募団体からのアピール・メッセージ

活動理念は「ライステラスライフ照らす」で、古い良きと新しい良きを選び続ける棚田活用を実践し、地域住人も、週1の人も、月1の人も、年1回の人も訪れてくれるような活動をするのがNPO法人英田上山棚田団です。

住所・電話番号・SNS等

美作市上山2135 MAIL:tanadadan@gmail.com

記念賞
応募くさまだい すいしんきょうぎかい
草間台エコミュージアム推進協議会

～発見草間台 発信草間台 進化草間台～



羅生門ガイドツアー(令和5年4月)



羅生門さくらまつり(令和5年4月)

取組内容

- エコツアー(都市住民との交流)ガイド養成講座により、16名のガイドが誕生。
- 羅生門ガイドツアーの開催(令和4年度から実施)
- アグリツアー(農業体験)として、令和4年度に「しいたけ植菌体験ツアー」を初めて実施。
- 羅生門さくらまつりを令和4年度から開催。

前回選定後の情報発信の取組

- ホームページとフェイスブックによる情報発信(令和3年3月にHP刷新、令和2年度まで:年12回程度)
令和3年度:40回、令和4年度:24回、令和5年度:23回(7月まで)
- 羅生門さくらまつりの報道
令和5年春開催)
 - ・さくらまつり:新聞3回 雑誌1回、テレビ・ラジオ3回
 - ・フォトコンテスト:新聞2回

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 地域住民がガイドになることで、地元を理解する郷土愛が育まれ、連帯感も深まった。
- アグリツアーにより岡山県南等から参加希望者が殺到する程の人気となった。
- 観光協会(旅行業者)が企画募集するツアーを実現し、定着してきた。
- 羅生門さくらまつりの開催により、春4月に多くの来場があり、地域経済に好影響であった。

応募団体からのアピール・メッセージ

令和4年度からは、新見市観光協会とタイアップし、アグリツアーと羅生門ガイドツアーを絡めたツアーを計画しており、地域住民と一体となって引き続き取り組んでいる。今後も、地域の宝物を護り、魅力の発信を続けたい。

住所・電話番号・SNS等

新見市草間7471-1 Tel:0867-74-9001 <http://kusamadai.com/>

記念賞
応募うえた てるよし
植田 輝義

～農業を通じて皆様を繋ぐ架け橋になりたい！！～



肥料高騰対策 ひまわり緑肥+養蜂開始ハチミツ



黄ニラ駅弁 JR岡山駅 社長と販売PR

取組内容

- コロナ禍、黄ニラ、パクチーの需要創出のため、原材料として使用した「岡山パクチージン」「黄ニラ駅弁、冷凍弁当」を開発・販売。
- 生産資材の高騰を受け、ひまわり栽培を拡大し、緑肥とし、肥料費等を抑制しつつ環境に配慮した農業経営を実践中。また、ひまわり、パクチーの花を活用し、養蜂業を開始。

前回選定後の情報発信の取組

- 特産品である黄ニラを使った商品や自家採取のハチミツを使ったお菓子で産地をPR。
- 大学でグローバル農業についての講演を行い、学生と日本農業の強み弱みを共有し、農業の可能性を追求。
- 小学校、大学、特殊支援学校における食育活動を、今後も継続。
- 選定後(令和4年以降)、テレビ・ラジオ出演10回以上、新聞等掲載10回以上、講演は年15回以上。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 黄ニラを使用した商品を開発し、各方面でPR・販売することで、認知度も上がり需要が拡大し、増収増益。
- ひまわりを緑肥とすることで、生産コストの抑制、環境に配慮した農業経営を実践。また、採蜜したハチミツを連携先へ提供するなどの取組を開始。
- これらの取組が広く伝わることで、異業種企業からの取材・コラボ依頼が増加。

応募団体からのアピール・メッセージ

様々な取組を通して、産地の活性化、雇用の創出、耕作放棄地の活用など、農業従事者以外の新しい切り口によるアイデア想像が生まれると実感しており、今後、持続可能な農業社会を実現する。

住所・電話番号・SNS等

岡山市北区牟佐3060 Tel: 086-229-1129